地域で育む子ども読書活動
全市的ネットワークの構築図る

議員　子供の活字離れが懸念される中、子供たちが読書に親しむ環境を作るため、本市では十七年度からの五年間を計画期間として平塚市子ども読書活動推進計画を策定したが、その活動拠点について聞きたい。

社会教育部長　市内の四中学校区をモデル地区として選定し、子ども読書活動推進協議会を設置した。公立図書館だけではなく学校図書館、公民館、ボランティアサークルなどを拠点に活動している。

議員　既にモデル地区として選定されている地域では、子ども読書活動推進協議会はどのような事業を展開しているのか伺いたい。

社会教育部長　小学校等を会場に絵本作家講演会やブックフェアを開催し、地区内の小中学校、高等学校の図書館をめぐる見学ツアーを行っている。また、中学生が「読み語り講習会」を受講し、自らが選んだ絵本を昼休みを利用して小学一、二年生に読み聞かせる事業も展開している。

議員　学校図書館や公民館は、いずれも本に親しむ心を育てる身近な施設と考える。子ども読書活動推進協議会が公民館で実施している事業活動を聞きたい。

社会教育部長　公民館にリサイクルボックスを設置して不要となった本を回収する本のリサイクル活動や、公民館との共催による公民館まつりでのお話し会の開催、夏休みブックフェスティバルでの読み語り講座などの活動に積極的に取り組んでいる。

議員　子供の読書活動に関する全市的なネットワークシステムの構築をどのように推進していくのか伺いたい。

社会教育部長　関係各課による子ども読書活動推進会議を開催し、家庭・地域・学校が連携した子供の読書活動の取り組み等の検証を進めていく予定である。さらに、子ども読書推進事業の検討状況や進捗状況を踏まえつつ、総合的なネットワークを構築していきたい。

図書館機能の充実等 今後の事業計画聞く

議員　子供の感性をはぐくみ、また主体的な学習活動を支援するためには、図書館機能の拡充や強化を図る体制づくりが重要だと考えるが、今後の事業計画を聞きたい。

市長・社会教育部長　読書を通じて子供たちの成長を促し、地域での子育てを支援するためには学校図書館司書の役割が重要だと考えており、今後も順次各学校に配置していく予定である。また「地区子ども読書活動推進協議会」を設置し、平成十九年十一月に子ども読書活動推進地区の事例などを発表するフォーラムを開催する。今後も公立図書館と学校図書館との連携、公民館、自治会、図書ボランティア団体等との連携を図り、地域全体で子供の読書環境を総合的に推進していく。

絵本作家講演会での事例報告

放課後児童クラブ 公設民営化を推進
19年度は松延小敷地内に

議員　放課後児童クラブの施設は、近年老朽化が著しく、狭隘化も顕著になってきている。民間借家から公共施設へ順次移設し、公設民営化すると聞くがどのように実施していくのか。

市民部長　主に学校の教室を含めた公共施設の有効活用を検討し、利用可能な公共施設がない地域については、公共用地に専用施設を建設することも視野に入れ、順次移設していく方針である。

議員　これまでに公設化した施設数と今後の予定を聞きたい。

市民部長　専用施設が二か所、学校の教室利用が三か所、市役所分庁舎の利用が一か所である。十九年度は、松延小学校の敷地内に専用施設を建設する予定である。

議員　本市においても放課後児童クラブの利用児童数が年々増加しているが、大規模化した児童クラブへはどのように対応していく考えなのか聞きたい。

市民部長　一小学校区に一か所ずつ放課後児童クラブを設置する方針に沿って整備を進めてきたが、未設置学区も残り少ない。そのため今後は一小学校区に複数設置をするための具体策を検討する必要があると考えている。

深刻化する青年の雇用問題
本市の就労支援への対応尋ねる

議員　現在、青年の雇用問題は大変深刻化しており、青年が自分の将来に展望や希望が持てない状況にある。青年の雇用を確保するために本市はどのような対策を行っていくのか伺いたい。

経済部長　十九年度、市と神奈川県地域労使就職支援機構、ハローワーク平塚との共催で企業合同就職説明会を実施する予定であり、一日でも早く就労希望者が就職できるよう支援していく。

議員　学校にも行かず働きもせず、職業に就くための訓練もしない、いわゆるニートと言われる、おおむね三五歳未満の若年者に対しての就労支援やフリーター対策として、本市ではどのような施策を行っているのか。

経済部長　ニートへの支援として、キャリアカウンセラーによる「親のためのセミナー」と「個別相談会」を実施している。またフリーターへの対策としては神奈川県との共催による「若者のための就職チャレンジセミナー」において、応募書類の書き方、面接の受け方など就職に向けた支援を行っている。

正規採用を前提に 企業に対し要請も

議員　社会全体の雇用状況の改善や本市経済の活性化のためにも、雇用の拡大が重要と考える。今後、本市では企業等の青年層の雇用についてどのように取り組む考えなのか聞きたい。

経済部長　基本的には国の雇用対策に負うところが大きいと考えている。正規と非正規雇用で処遇に格差が生じていることから、国に対し改善の施策を要望するとともに、関係機関と連携を図りながら企業に対しても要請を行っていく。また多様化する社会ニーズを的確にとらえた就職活動支援セミナーの開催を行い、就職情報、職業訓練情報の提供など、就労支援に努めていく。

議員　市内の企業にはどのような形態での雇用を依頼しているのか。

市長　企業訪問等で雇用の拡大を要望する場合には、正規雇用を前提として依頼を行っている。

企業合同就職説明会

部活理由の学区外通学
希薄になる地元とのつながり　どう認識

議員　本市では、中学校に入学する新一年生が通学区域で指定された学校に希望する部活動がない場合等を理由に隣接学区への通学を認めている。部活動を理由とする学区外通学の人数を聞きたい。

教育長　十八年度は十六人、十九年度は三七人である。

議員　他地区の中学校への進学により、生徒が居住する地域とのつながりが希薄になると懸念するが見解を聞きたい。

教育長　学区は自由化していないので、地域での人的な結びつきに大きな影響はないと考えている。児童生徒の部活動に対する強い希望や夢を最大限に生かし、どの学校においても豊かに学校生活を送ることができ、地域で子供を育てる教育環境整備が必要であると考えている。

編集後記

「第五七回湘南ひらつか七夕まつり」も終わり、いよいよ夏本番を迎えました。

今年も盛大に開催され、多くの方にご来場いただきましたことを感謝申し上げます。

四月の統一地方選挙後、初の定例会が開催されました。今定例会では、これからの一〇年間における本市の総合的かつ計画的なまちづくりの基本理念となる将来像、それを実現するための基本目標や達成方針を掲げた「平塚市総合計画基本構想」が議決されました。大切なのは、この構想をもとに実行・実現をしていくことであります。

今後も、皆様により親しんでいただける議会だよりとなるよう努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

編集委員
須藤量久　伊東尚美
山原栄一
議　長　落合克宏
副議長　松崎清子

☆　事務担当は、議会事務局議事課調査担当　電話二三―一一一一（内線二三六七）です。

市議会を傍聴してみませんか

次回定例会のお知らせ

- 8月31日（金）　定例会本会議（提案説明）
- 9月11日（火）～14日（金）　定例会本会議（総括質問）
- 9月19日（水）　総務経済・都市建設常任委員会
- 9月20日（木）　教育民生・環境厚生常任委員会
- 9月27日（木）　定例会本会議　最終日

◇湘南ケーブルネットワーク（SCN）で定例会本会議の模様をテレビ放映しています。

※生中継は午前10時（予定）から2チャンネルで、録画放映は当日の午後7時（予定）から9チャンネルでご覧ください。